

セキュリティ上の問題: CCM データベースの Postgres ユーザは Password を必要としません

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題: CCM データベースの Postgres ユーザはパスワードを必要としません](#)

[解決策](#)

概要

この資料にパスワードが設定される高可用性の postgres ユーザに (HA) アクセスするように要求する方法を記述されています。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cloud センター < v4.8.0.1
- 4.8.0.1 アップグレード

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

問題: CCM データベースの Postgres ユーザはパスワードを必要としません

HA で 4.8.0.1 が影響を受けていなかった後 Cloud センター マネージャ (CCM) データベース (DB) が 4.8.0.1 より古いバージョンのための CCM とは別にどこにあるまたはより古いバージョンから 4.8.0.1 に (きれいなインストールすればか設定して下さい) CCM データベースのユー

ザがそれに接続した場合パスワードを必要としない postgres をアップグレードしたら。これは潜在的なセキュリティーの脆弱性です。

解決策

各 DB 例でこれらのコマンドを実行して下さい:

```
エコー 「*: *: *: 複製: パスワード」 >> /root/.pgpass
```

```
エコー 「*: *: *: 複製: パスワード」 >> ~postgres/.pgpass
```

```
SED - i 's/(0.0.0.0.*)trust/\1md5/ /var/lib/pgsql/9.5/data/pg_hba.conf
```

変更されなかったら、pg_hba.conf に md5 に md5 に変更される信頼のすべての例が手動で変更するワード信頼をあったことを確認して下さい。

SU – postgres

```
/usr/pgsql-9.5/bin/pg_ctl 読み込み
```

```
\q
```

これはコンフィギュレーション変更が付いている postgres をリロードし、データベースがパスワードなしの認証のために開いていないことを確認します。

CCM に問題が解決されるログイン確認でき、このコマンドをかどうか実行します。postgres パスワードのためにプロンプト表示される場合、変更が正常だったこと確実にであって下さい。

```
psql - h IP_ADDRESS_OF_DATABASE - U postgres
```